



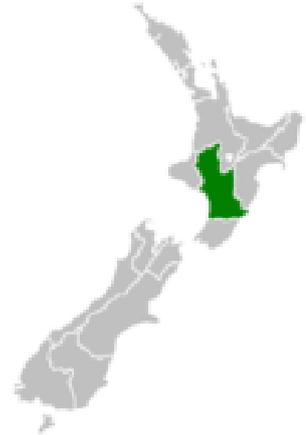
Cullinane College

カリナン・カレッジ、ワンガヌイ（北島）

「ワンガヌイ」とはマオリ語で「大きな入り江」という意味で、その名の通り市内には大きな川が流れており、それが大きな入り江から海に流れ出ています。かつてはマオリ民族や先住人たちに国内移動のルート地としてよく使われていた場所です。歴史的建造物も多く、自然と見事に調和した街並みが魅力です。

ワンガヌイの特徴

- 北島の南部にある、歴史ある町
- カヌーや登山、スキー、黒砂のビーチなど自然を満喫できる環境
- マナワツ・ワンガヌイ地方の中心都市であるパーマストン・ノースまで日帰りで行ける距離。また首都ウェリントンまでも車で2時間半の距離
- 公共施設としては国内で唯一、窯場を一般開放しているガラス工房やニュージーランド・オペラ・ハウスなど芸術活動も盛んなクリエイティブな街



カリナン・カレッジを選ぶわけ

- 定評ある高い教育水準。保護者へ定期的にプログレスレポートも発送
- 留学生にとって、いろいろな活動に参加しやすい環境
- 生徒数 330 名という学校規模で、一人ひとりに目が行き届きやすくなかつ選択科目やクラブ活動などバラエティ豊かに開催できるサイズ感

様々な価値観を受け入れる教育

カリナン・カレッジはカトリックの価値観に基づき設立された学校ですが、学生はカトリックである必要もなにか宗教を信仰している必要もありません。学校教育の中には宗教関連の内容も含まれますが、学生たちはそれを一つの価値観として興味深く学ぶことができ、自分たちがカトリックに改宗しなければいけないといったプレッシャーを感じることももちろんありません。宗教関連の授業では、カトリックに関するだけでなく、ライフスキル等の様々なトピックが取り扱われます。カリナン・カレッジではダイバーシティを尊重し、学生には多文化な環境だからこそ身につけられるユニークな視点を身につけて欲しいと願われています。一人ひとりの違いを受け入れ、他人の成功や達成をお互いに自分のことのように喜び合い、また「やればできる」という姿勢を身につけてもらいます。



ニュージーランドならではの経験を

中規模なカリナン・カレッジでは、留学生は現地の生徒との交流の場がたくさん設けられています。英語上達に大いに役立つことでしょう。また留学生へアカデミック面でサポートするのはもちろんのこと、アカデミック以外でも様々なアクティビティに参加できるよう学校側は留学生に声をかけています。スポーツやドラマ、パフォーマンスアートやハカ等、ニュージーランドで経験できることは一つでも多く経験してください。



ハウスシステム

カリナン・カレッジでは学生やスタッフを4つのグループに分け、それぞれを「ハウス」と呼ばれるグループに分けています。それぞれのハウスにはイメージカラーがあり、学業面や生活面、スポーツ面などで学年を超えてハウスごとに点数を競うシステムです。それぞれのハウスの獲得ポイントは随時ホームページで確認することができ、学生は協力することの大切さを学び、互いに切磋琢磨していきます。

学校データ

受入学年	9年生～13年生	ESOL プログラム	あり
生徒数	325人	制服	あり
開始日	1月、4月、7月	滞在方法	ホームステイ